

あまでつすです

落語をテレビで観る機会... 分、落語の本やそれに...

つ、みつつ、よつつ、い... つかつ、今何刻だい？

三人の兄弟がひとつの家... に住んでいる。ほんと

も、そこに見えるのはい... つも他の兄弟だけ。さあ、

我我にとつて時間は未来... と過去と現在という構造

レンズにねずみの絵を描... いてはめるんですな。猫

九州の空から

水門川の桜がやつ... と咲き始めた、風

春なのに。花粉のせい... し、封印されてた記憶を開

風地蔵新聞

第114号 発行編集 風地蔵 白石 美帆

ヤフーブログ 毎日更新中 炎の女みほ日記

母のラジオ

大橋 美紀

私の小さな頃... から、母はいつ

知ってる歌だと... 一緒に歌ったり

です。きっかけ... は5年前。疲れ

ました。そんな... ある日、ラジオ

すると汗も出る... するとは何かを

ませんが正しい... 体操をしています

ラジオ体操をす... るでしょう。



ちよつと立ち話し

新聞いいですね。手づくりって感じで、みんなアットホームな感じがしていいです。(エステのKさん)

ここは何でも手づくりなのがいいよね。新聞もその人となりかわかるし、でも大変よね。チラシも手書きなのがいい。(エステのYさん)

きのうゆっくり新聞見せてもらったよ。よかったよ、あなたの「打弾」もりおんちゃんの事も飾らずありのままを書いてあるのがいいね。(松さん)

大橋さんのアレンジ

レシビ、私も作ります。カレーが残った。そこにご飯を入れてグラタン皿にバターをひいて入れ、家からチーズをのせて焼くとカレードリア。ポテトサラダはハムにのせてフライにします。原先生のはおもしろいです。宣子さんののは、よく書くなーと思います。私には書けない。(エステのYさん)

あつ、ちよつと聞き

たいんだけど、中はどうなってるの？新聞いつもはいつてるから気になつて。(船町のおばあさん)

いつも新聞がポストに入っていてね、来てみたいなーと思つててやつと来れまし

た。とつても素敵なお所ですね。(新聞をみてくれたご近所の方)

3月2日に卒業式を終えたりおんちゃんに2年ぶりに会いました。なんとなく女性らしくなつていますが、オーナーとの会話は相変わらずでした(笑)隆男さんにも会えましたし、しかし店長が4日間、九州に誘拐されてしまいました。(大橋)

打弾は行った事が無く、話を聞いただけです。行つてみたいですね。和楽器の音は好きです。お店のイベントでいろいろ人と会えるのも楽しいの一つです。ふきのとうはお店の庭にも生えています。天

ぶらにして食べたいというより、見ているだけで春を感じるの、採つて食べようと思わないですね。卒業、そして入社式早いんですね。いろいろ意味で春を感じます。(原)

原先生のは、そうだったと思ひだし、思わず笑つてしまいました。イベントでの出会いも楽しみですね。ふきの葉の変わった使い方知りませんでした。3年間、リーちゃんがんばつたね。社長お疲れ様でした。隆男さんもいろいろ経験してよかつたですね。あまでうすさんは相変わらず奥深く、ゆつくりお聞きしたいですね。(鎌澤)

運転をしてくれました。今回、社長はまた体調が悪いので、食べたいのに、念のため和定食。隆男さんは、尾道ラーメンとチャーハンセット。社長は私達が食べているのを見て、「私も食べたい。」と言つていました。リーちゃんは相変わらず寝たままで、死んでいないか心配になるほどでした。さあ、いよいよ本州とお別れです。下州福岡に上陸です。一五時三十分位には福岡入りをしていて、思つていたよりずっと早く着きました。隆男さんが「大垣からだと早いな。楽だつた。」高山からだとやつぱり遠い。」と言つていました。もうすぐ家に着くと、もうすぐ家に着くと、社長が用事を済ませている間、隆男さんと会社の人の話をしながら入社するはずと前から働いている、

そうそう！ラジオの話を読んで、引き込まれました。ラジオ体操と言えば、そこで教えてる先生の一人が、ラジオに出演されてました。大橋さん、この新聞はすぐに、NHKラジオ体操宛てに送りましょう。きつと喜ばれますよ。昔、風地蔵でもいつときラジオ体操をみんなやってた時期があります。やっぱり自分で決めて一人でやらないと、長続きしませんね。あたしもやるのかな。ラジオは、あさの番組「ラジオビタミン」に朝日屋のうどん屋の女将さんときそい合うようにお便りしてました。いま、ラジオビタミンからすつ

びんに変わつて、「からみづらくなつたね」と寂しい思いをしてるほどです。その当時は、朝風地蔵に来てすぐに、ユーセンをNHKに合わせて、開店前まで聞いてたほどです。自分のが読まれると思つた時は、そのままつけてたつけ。どちらかが読まれるとすぐ電話して！いまはラジオは弁当配達の中のでしか聞かない。朝起きてすぐラジオつけて、めちやくちゃ素敵！と思ひました。離れていてもラジオでつながつたり、風地蔵新聞でつながつたり。あれれ、大橋さんのラジオの話で興奮してもう書く場所が無くなつちやいました。(みほ)

七十三才の元気のいいおばちゃんのご主人の介護で退社をされるとか、スポーツ好きな人がいるとか。話を聞きながら、男でもきつい仕事を女性に、しかもお年を召した方がされていくのかと思つと、「すごい！」と感心しました。自分に置き換えるとはたして出来るかなと疑問です。なかなか出来る事ではないと思ひました。そこに社長が、「だまつて乗つとつたんやろ？よう、話しながら戻つてきました。レンタカーのガソリンを満タンにし、ひとまず、リーちゃんの大荷物をおんぶ降ろし、社長と隆男さんは二台で、車を返して。私とリーちゃんは荷物を家の中に入れ、整理します。リーちゃんの部屋を片付け、私の寝場所をつくり、ソファにリーちゃんのベッドを作りませう。終わつた頃、社長たちが帰つ

福岡旅行

鎌澤 宣子

三月三日(ひなまつり)から六日まで福岡に行つてきました。三日の日朝八時出発予定で、社長隆男さん、リーちゃん、前日からの大垣に来ていたのでお店で待ち合わせです。八時前に迎えに来て下さつたのですが、リーちゃんがいまません。前日の夜から熱が出て、お腹も下し、ぎりぎりまで寝せているそうだったので、社長たちが泊まったホテルに戻り、リーちゃんを準備するのを待つて改めて出発しました。すると、忘れ物に気がつき、またお店に戻つてもらいます。原先生に、「旅の思い出を撮つてきてください。」と頼まれていたのに、デジタルカメラを忘れてしまったのです。さあ、いよいよ福岡に向けて、車での長い

道中ですが、お天気も良く、原先生の笑顔に見送られて出発です。今回は原先生と大橋さんはお留守番です。頼もしい二人なので任せても安心です。大垣インターからのつて、養老のサーブエリアで軽い朝食です。お客様から頂いた私の顔よりも大きなメロンパンが売つてある。「森のパン工場」という、下り線にしかおいてないパン屋さんで、「社長！これがさつき話した目がメロンパンです！」と、本当にでかいのに社長も驚いていました。今のサーブエリアは、いろいろなもの置いてあつて、そこにいかないと買えなかつたご当地ものが揃つています。とらやのういろ、赤福など、目移りします。食いしん坊の私にはたまりません。車の中では、リーちゃん泥の様に寝ています。本調子ではあり

ません。そのエピソードは多分社長が書いておられると思うので、省略します。リーちゃんが一番最後にかかつたので、たぶん一番重いのだと思ひます。どこで休憩しても一度も起きませんでした。社長が、停まる度に、「トイレは？おなかすいてない？」と声をかけますが、「ずーつと眠りつぱなしです。ちよつと心配です。お昼は、尾道あたりで、尾道ラーメンをごちそうしてもらいました。豚の背油が入つていますが、なぜかあつさりして醤油ベースのストレート麺。もつとこつてりして、かと思つたのですが、本当にあつさりしていておいしかったです。社長たちも一度食べて病み付きになり、リーちゃんの高山に行くときには、必ず寄つて食べるよ。うになつたラーメンで、食べさせたいと丁度昼すぎにつくようにと、隆男さんも

七十三才の元気のいいおばちゃんのご主人の介護で退社をされるとか、スポーツ好きな人がいるとか。話を聞きながら、男でもきつい仕事を女性に、しかもお年を召した方がされていくのかと思つと、「すごい！」と感心しました。自分に置き換えるとはたして出来るかなと疑問です。なかなか出来る事ではないと思ひました。そこに社長が、「だまつて乗つとつたんやろ？よう、話しながら戻つてきました。レンタカーのガソリンを満タンにし、ひとまず、リーちゃんの大荷物をおんぶ降ろし、社長と隆男さんは二台で、車を返して。私とリーちゃんは荷物を家の中に入れ、整理します。リーちゃんの部屋を片付け、私の寝場所をつくり、ソファにリーちゃんのベッドを作りませう。終わつた頃、社長たちが帰つ

て来たので、もう遅いから食事は外でという事になりました。リーちゃんはまだお腹の調子がとても悪いし、からだにエライので、お留守番です。社長に、「おかゆ作つていてよ。」「ごはんが無いけん、帰つてからでいい？」と言つと、少しリーちゃんは怒つていました。けど仕方がありません。申し訳ないと思ひつと、お腹が空いていたので、「大蔵」という和食の店に連れていって

つづく

# 川風

2013年4月3日

新聞 蔵地 風

第114号

2013年4月3日

新聞 蔵地 風

第114号

しらしみほ

2月が逃げ、3月がぐるしく、3月が去ろうとしている。卒業式を終えたばかりと思っていたら、1週間後に、高山西剣道部が大霧島旗にやってきた！おとーさんが、しごと、半日で切り上げようと風ら、休みにしよう」と、デイリストラになり(笑)、最近毎日出てるあたしの弁当屋さんも、「これから土曜は、他の人と交代で出てもらうからあした休んでいいよ。」と、突然言われ、あたしのつい悪い予想をする性格がこの日ばかりは、なんてラッキー！すぐ自動車学校のりおんに電話した。「昼の送迎で帰っておいで！今から、霧島行くよ！」お父さんが帰るのを待って、日のあるうちに、高速の距離を稼ぐ。

当日限定、ネット予約の安い宿に8時半には着いた。2時間ちよい前にネット予約したばかりなので、3人なのに2人部屋だった。すぐ、もう一つベッドを入れる風らしいので、怒らず、先にお風呂にした。露天風呂がいろいろ、バタバタした疲れと、この頃の連ちゃん行事の疲れをとるべく露天風呂へと急ぐ。

地下に降りて長い通路の途中にボーリング場があった。

バブルのころはさぞ、賑わった事だろう。いまは、ゲームセンターのキン音と、古い施設にそこだけ浮いたようなプリクラの派手な機械が並ぶ。「あー！こや！毎年、うちらが泊まるとこ！」さて、今頃気づいたるや、りおんさん。やっ

と買ってもらった携帯で、剣道部同級生ラインへ「さて、ここはどこでしょう。」って送ってる。返事は「どこですって。みんな分からんのは、だいたい毎週末遠征で、いたいそこは青森なのか九州の秘境なのか、しめたままのバスのカーテンの中で、ゆられて眠ってついたら試合なのだからね。」おかあさん！この露天風呂すごいんやて！。温泉好きで、効き湯できるあたしの目が光る。露天風呂の戸を開けた瞬間。「テルマエロマイ？」屋根はどうした？飛んで行ったままか。の風貌よろしく、いくつもの湯船がでくと階下△広がる様は、「あ、ここ来たことあるかも！」あたしの脳みそを刺激した。「あれは、何年前「歌ってる場合じゃないが、社会人になりたてのあたしと、3年先輩のみほちゃんと、村里先生と女3人旅しに来たところだ！そうそう、思い出したかも。でも、26年前は、屋根があったよな：。それと、でかい、夕

食会場では、ハワイアンとの激しいダンスと、火男の舞いが繰り広げられていたが、その場所は、建て壊したあとのようなあの辺だったのだろう。当時は、湯の状態とか、あたしの傷や痛みやかゆみに効くとか、まったくわからないでいたのに、今じゃ、効能のありがたさが身を持ってわかる。りおん、おかあさんが今まで行った湯の中で、一番到着した高西軍団と、親さんたちひとり頭の毛の薄いお父さんに教えてあげた。「起きたら口毛になってるかもよ。」大人だけで、夜の宴会。今回はりおんも初めて大人側でデビューした。生まれて初めての、焼酎つくりやら、ひいたもんを下げたりしてこまめに動いてる様子は、新社会人の予行練習の様で、皆温かいまなざしで見つめてた。卒業式前後に親子3人順番に発熱、からだもエライがピークだけど、高西のバスを見送った日曜日の帰り道、程良い疲れを残し、いい気分だった。途中、高速を八代で降り、小川へ墓参りに行った。3人

香たて、りおんがチーンとならし、マンマンチャンアツ。

を、次に、田中家の扉を開けて、じいちゃんとはあちゃんに大きな声で言った。ばあちゃん

んが死んだ時のあたしの年を、りおんが追い抜きました。よかったです！ありがとう！「17才になる直前にばあちゃん死んだ。りおんは18になった。あたしのあの時の年を越えた。よかったです！りおんがどういう意味か、聞いていた。卒業式の翌日大垣へ寄って、店長をひっさらってこつちへ帰って来たのはよかったです、いつもの

ごとく、いっぱい連れて行く！と思っていた、慰安旅行ならぬ、分刻み8人ド旅行が、今回は、体調おもしろくなく、りおんが一番真っ最中のさなかで、近くの温泉、遠い所で、人吉へ2人で行ったことだった。それでも、一緒に入れる事は、よかったです。あたしたちが、少し、具合が悪い方が、疲れる旅にならずに済むかもしれない。さいごは、梅満開の太宰府天満宮で3人で抹茶と梅が枝餅でまったりした。あたし的には、

幸せ漂うあの時間が一番好きだったかもしれない。「またすぐ来れるように、がんばろう！こんどは、ひとりじゃなく！」電車の窓越しに見送った、あたしたちのその後の、入社準備に駆け回って家に帰りつくより先に、店長は風地蔵に着いたのだから、ほんと、遠い様で、案外近いのだと、楽しみが増えた。みんなの笑顔、こつちでこの目で見たい。さ、次会えるのは何月でしょうか。

を、次に、田中家の扉を開けて、じいちゃんとはあちゃんに大きな声で言った。ばあちゃん

んが死んだ時のあたしの年を、りおんが追い抜きました。よかったです！ありがとう！「17才になる直前にばあちゃん死んだ。りおんは18になった。あたしのあの時の年を越えた。よかったです！りおんがどういう意味か、聞いていた。卒業式の翌日大垣へ寄って、店長をひっさらってこつちへ帰って来たのはよかったです、いつもの

ごとく、いっぱい連れて行く！と思っていた、慰安旅行ならぬ、分刻み8人ド旅行が、今回は、体調おもしろくなく、りおんが一番真っ最中のさなかで、近くの温泉、遠い所で、人吉へ2人で行ったことだった。それでも、一緒に入れる事は、よかったです。あたしたちが、少し、具合が悪い方が、疲れる旅にならずに済むかもしれない。さいごは、梅満開の太宰府天満宮で3人で抹茶と梅が枝餅でまったりした。あたし的には、

## 4月号 少年野球

もうすぐ2年生の長男が少年野球に入った。同級生はたったの4人。少なすぎる。試合にも出られない。3年生はひとりしかいないらしい。少子化なのかもしれないが、一番の理由は親が面倒みきれないこと。

土日の度にお茶当番、練習試合場所への送迎、審判に借り出されるなど。野球をやりたい子供は結構いるみたいだが、親が二の足を踏んでしまうみたい。

自分もなかなか日曜日も休めなかつたりするが、できる限りのことはしてあげたいと思う。自分の父親がしてくれたように。ウチには坊主が3人いるが、できれば野球をやらせたいと思う。

野球をはじめて30年。いまだに野球少年。月に一度の草野球がなにより楽しい。

庭師 奥田良樹